

しのばず自然観察会より 2024-6 2024.06.01

2024年6月の活動 不忍池 定点観察 6月9日(日)



集合:午前10時 不忍池 蓮池南西端
緑の小旗あり(野外ステージ西側、湯島天神下交差点寄り)

今回は雨天中止

持物:筆記用具、双眼鏡、飲み物、雨具
(マスク、敷物、昼食)

解散は午後1時頃ボート池畔または藤棚
参加費不要 非会員の参加も歓迎

7月の不忍池定点観察は、14日(日)の予定です。

不忍池定点観察 2024年5月19日(日)より

今回も11時頃に降雨の天気予報がりましたが、結局雨は降らず、8名が参加しました。ハスの葉が広がり、アシの緑が枯れた穂の高さの半分くらいに達していました。池畔は春の花が終わり、初夏の目立たない花々へと主役交替中でした。渡り鳥のカモ類は去り、カモメ類も見られませんでした。

弁天堂参道入口では、大木を撤去し水路を埋めてできたイベント広場を使わずに、参道入口から南へ続く公園の園路を食べ物屋の自動車屋台が並んで園路の半分と池の眺めを塞ぎ、これまで多少の違和感があった参道の屋台に、かえって安心感が湧くような変な気分になりました。

確認した鳥:カルガモ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、ムクドリ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ツバメ、キジバト、ドバト、スズメ、ハシブトガラス(坂部嗣雄)

開花・結実:オオイヌノフグリ、雑種タンポポ、ノゲシ、ノボロギク、ウラジロチチコグサ、ハハコグサ、ハルジオン、キンシバイ、カタバミ、カタバミの仲間(紅色花で丸味のある葉と、紅色花で普通のカタバミ葉の2種類)、ムラサ

キカタバミ、ユウゲショウ、チガヤ、イヌガラシ、キュウリグサ、カラスノエンドウ、アメリカフウロ、マメゲンバイナヅナ、ヘラオオバコ、ギンギシ、アレチギンギシ?キツネノボタン、ドクダミ、キョウチクトウ(桃色花)、イタチハギ、マルバノホロシ?イネ科不明種



ユウゲショウ

2024年5月19日（曇り）の観察会から 小川千恵子

9:24 ツーピーツーピー シジュウカラの声とヒヨドリ声。ドバトは道の上にはいるが、浮き橋にはいない。

ひっくり返したボートの上にはアカミミガメが1匹いるだけで、鳥は1羽もない。

草は一带に刈られている！

水の中の筏の一部が沈むくらいの水の多さ。

ヒルガオ、ドクダミ。北西部の狭い水面にコシアキトンボ1匹飛ぶ。

黄色い五弁の小さい花はヘビイチゴ。

浮き橋を西に出て、角を南に曲がる。水中の鉢にアシと黄色いアイリス。

ハンノキの下、ドクダミ、シロツメクサ、ピンク花のカタバミ、ナガミヒナゲシ1本、背の低いヘラオオバコ。

ガンジソウ北のハルジオンは丈15cm位。

桜カンザンの北、池の鉢の中に枝先の葉がグニョグニョで赤くなっている葉の木は何？？黄色いアイリスが鉢の中に咲く。カンザン下にはスズメノカタビラ、シロツメクサ。

タチアオイ、2m位の高さの薄いピンク11本、ピンク10本、背が少し低い蕾だけのものが10本。花は下から順に咲き、上は蕾がぎっしり。

オオバコ、タンポポ、黄色い粒々の花は何？

濃いピンクのタチアオイ12本。

ベンチ北にオオイヌノフグリ。ボート池南のひっくり返したボートの上にカメ2匹。

赤いタチアオイは170cm位で10本。

集合地手前に白いタチアオイ 120~130cmが 15 本。

茎の長いタンポポが咲く。

1m位の高さの赤紫のタチアオイ 1 本と思ったら、そのあと 12 本。

集合地から

カンナの葉が大きくなっている。菊の葉は50cm位。ピンクの大きい花で、中心が赤いカタバミ。オオイヌノフグリ、ドクダミ、先月咲いていたジャーマンアイリスは脱色して薄茶のカラカラの枯れ花らしき物がくっついている。

音楽堂方面に進む。先月、すぐ南の植え込みにあったジャーマンアイリスの花は見られず、葉だけが残る。黄色いアイリスが咲く。ジャーマンアイリスの葉の下にピンクの花のカタバミと濃い赤紫色の大きなカタバミ様の葉に薄いピンクの花。Taさんが検索。オキザリス、と。調べると「カタバミ科に含まれるカタバミ属で、花の美しいものは園芸用に栽培され、学名カナ読みでオキザリスと呼ばれる」

ガクアジサイは少し咲き始める。花は白。

蓮は水面にくっついてひろがっている葉と、葉柄が伸びて立ち上がっている葉があるわねえとMiさん。水面にくっついている葉はあとから葉柄が伸びるのかしら？と。潔にきくと水面にく

ついている葉は春様で、ずっとそのまま葉柄が立ち上がることは無い、と。葉柄が立ち上がっている葉は夏様と。

音楽堂辺り。ノゲシの下にマメグンバイナツナ。

水面上を白い蝶が飛ぶ。この日は何度か出会うが同じ個体かどうかは不明。タチイヌノフグリ、ムギクサ。

ピンク色の園芸種のキョウチクトウ。ドクダミ、アメリカフウロ、タンポポ。鳥の鳴き声がする。コゲラ、とSaさん。

落羽松の北の水面上に蓮の葉が浮いているが、元、巻いていた中心になっているところの両端が少しへこんでいる葉がある。

池水面を見ると、ずっと向こうの北側阿川にアシ群が広がり、その手前に棒状になった茶色の枯蓮の葉柄群、その手前に蓮の立ち葉、そして一番手前の水面上に蓮の浮き葉と、大きっぱに四層に見える。

浮き橋手前の過去にガマがあった筏のひっくり返った物の上に木が育っているのに気付く。何の木???

アオサギが飛ぶ。続いてもう1羽。ダイサギが飛んで来て枯蓮の中へ。サギ達は降り立つ時には広い水面ではなく、刈られなかった枯蓮の中に降りることが多いし、姿も枯蓮群の中に透けて見える。身が少し隠れて安心か?アシ群の中は全く透せないから、もっと安心?

直径20~30cm位の茶色のからまった紐状の物が幾つも水面上に浮いている。何?とMiさん。枯れた蓮の根とのこと。

下町風俗資料館前で北側をツバメが飛ぶ。

この辺からアジアフードフェスティバルで大きなキッチンカーとテントが何台か並び、水辺には近寄れない。大きな音で音楽が流れ、独特の香辛料の強い香りが漂う。

弁天堂入口北の動物園池には鳥の姿は無い。枯蓮の茶色の棒は先月より少なくなっている。昨年5月21日の観察会で咲いているのを見て驚いた萩は、今年はまだ蕾。

キショウブ。ここで菖蒲湯の話が始まる。キショウブの葉も紫色の花菖蒲の葉も、菖蒲湯には使えない、と。調べると、共にアヤメ科で、菖蒲湯に使う葉菖蒲はサトイモ科で全くの別物。

弁天堂入口の橋の南側の蓮池の水面上に出ている古い杭の上に草や木がはえている。何の草?木?

弁天堂参道の小さい藤棚は花も実も見えず、弦がたれ下がる。

弁天堂南の大藤棚の東南端にあるジュズダマは葉が40cm位に伸びてきた。切られた桜の



マメグンバイナツナ



ハスの枯れ根が浮く

下にタンポポが咲く。

ユッカはぐんと伸びた3本の茎に花が鈴なり。花は終わり頃らしく、地面に花びらが落ちている。ユッカの下に白い花のカジイチゴ。ムクドリが飛ぶ。カヤの木の北側の水際の壁に葉がニセアカシア似で、細長い濃い茶色の穂のような物がついた植物は何？タヌキラン？キツネラン？動物の名が付いたがーと潔。家で調べるとイタチハギ！別名「クロバナエンジュ」花は赤紫っぽい小さい花が棒状に多数付いている。



イタチハギ

弁天堂を西に出て、北側の聖天島の入り口にキンシバイの黄色い花が満開！

弁天堂の西の橋を渡って南下する。ツツジは終わり頃で、花も茶色に変わってきてる。アジサイは蕾が目立つ。

キショウブ、ヘラオオバコ。シジミチョウが飛ぶ。ピンクのカタバミ1輪。薄紫色のニワゼキショウ、ドクダミ。

一緒に歩いて来た女性群から一歩先に行くと、西のポート池側の陸地のヘリに小さめのアオサギが枯枝をくわえて歩く姿を発見。枝を置いて左右に歩き回る。ニワゼキショウの所で話しこんでいる女性群に手を振って合図を送るが気づかない。アオサギはまた枯枝をくわえてポイ。行ったり来たり。何分たったのか？ようやく気づいて来てくれる。黒っぽい冠羽が見られ、オレンジっぽい黄色の嘴、同色のような脚、眼は黄色の中におおきい黒。頬の辺りは産毛のようなフワフワのお腹の白と黒っぽい斑点模様も背中濃いめの灰色の中の白い羽もきれい。皆でしばし見とれる。寛永寺の時の鐘が鳴り始める。フワフワな穂のチガヤ。



アオサギ

ポート池側の陸地に今度はカルガモ2羽が首を背に入れてすわっている。瞼を閉じたり、開けたり。瞼は下から上がる、とSaさん。

こんなそばでアオサギやカルガモを見られるなんて！流石、不忍池。

しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔方
1975年創立 電話03-3828-8775 URL: <http://sinobazu.extrem.ne.jp>
郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000円 ほかに行事参加費

※2023年以前の会費未納の方もお忘れなく！退会の場合は早めに葉書で事務局へ※